



朝風

平成29年度
学校報 12月号②
大仙市立
大曲南中学校

国際教養大生に聞く AIU

ESD的進路集會

グローバル社会で活躍できる人材を育成することも秋田県の教育課題です。本校でも、そうした社会で必要とされる資質・能力を育むために、“Think Globally”をキャッチフレーズにして、様々な活動に取り組んできました。今回は、国際教養大から4名の学生をお招きして進路集會を開催しました。
＜留学生の日本語でのスピーチ＞



スピーチするリリーさんと彼女の好きな日本のアニメ↑



リリーさん (バージニア州 USA)
○日本のアニメが好きで、日本に興味をもった。日本語は、「猫を飼う」「猫を買う」のようにイントネーションが難しくておもしろい。高校の時は、ふるさとのような小さな町には住みたくないと思っていたが、考えが変わった。



ケビンさん (オレゴン州 USA)
○AIUは田舎にあると聞いて留学を決意した。みんな優しくいい大学だ。中学校の頃はいつもゲームだったが、いい大学に入れるように高校の時はかなり頑張った。自分も2年で日本語が話せるようになったから、みなさんも、毎日少しずつ英語を話しましょう。



フェリックスさん (バイエルン Germany)
○AIU に来た理由は、日本語を話せるようになりたいから。茶道、経済に興味がある。日本に住んで働きたい。日本の生活は好き。中学生へのアドバイスとして、いろんな言語を勉強して世界に出よう。



サエコさん (神奈川県 Japan)
○ホームタウンは3つある。神奈川と高校の時に留学したカナダと秋田。自分の住んでいるところのことを探求したくて、いろんなことに参加した。留学して、自分は日本のことを知らないと感じたので日本の文化を改めて勉強した。学びたいと思ったことに食欲になってほしい。



ドイツの食べ物について説明するフェリックスさん↓



聞く態度「花マル」の2年生女子↑

質問に答える留学生の皆さん↓



師走の心 母心



師走を迎え、何となく気忙しい毎日です。日没も益々早くなり、生徒の下校時間は真っ暗です。そこで、ドライバーがいち早く歩行者を発見し、交通事故を未然に防ぐことができるように

＜南中生からの日本語・英語での質問＞

- Q：苦手教科の克服法を教えてください。
- Q：毎日何時間勉強しているのですか？
- Q：将来外国に行くとしたら、中学の時に何をしていたらいいですか？
- Q：あなたの国の面白い文化や習慣は何ですか？
- Q：日本に来て驚いた文化・習慣は何ですか？



と、大仙市交通安全母の会(大曲支部長佐藤悦子氏)が、1年生全員に反射材付き手袋を届けてくださいました。

(↑代表して手袋を受け取る生徒会総務の藤峯さん&いただいた手袋→)

